

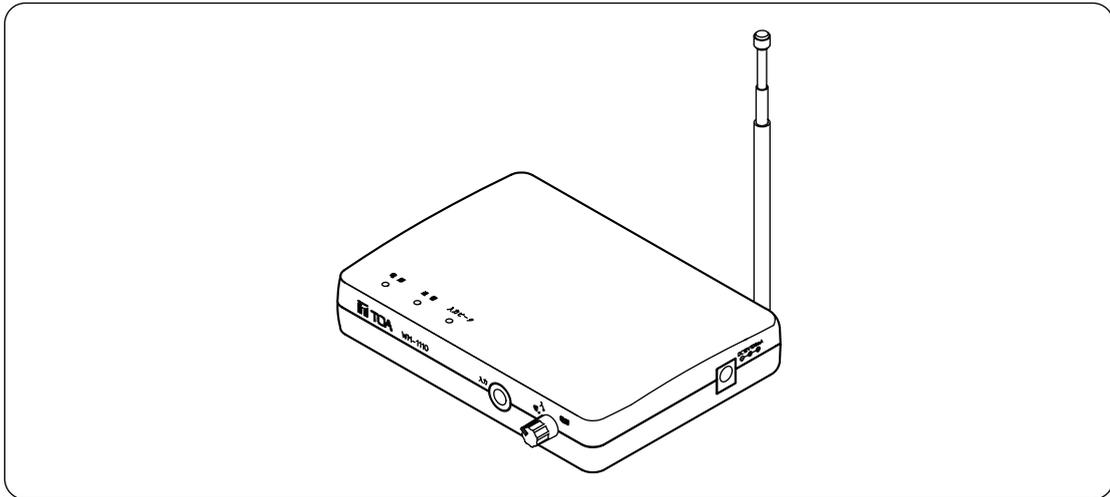


卓上型送信機

取扱説明書

WM-1110

このたびは、TOA卓上型送信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。



目次

| | | | |
|-----------------------------|---|------------------|---|
| 安全上のご注意 | 1 | 設置のしかた | 6 |
| 概要 | 3 | 操作のしかた | 6 |
| 使用上のご注意 | 3 | 上手な使いかた | 6 |
| 各部の名称 | 4 | 故障かな?と思ったら | 7 |
| 各種スイッチの設定のしかた | | 周波数表 | 7 |
| リモートスイッチ | 4 | トーン周波数表 | 7 |
| チャイムスイッチ | 5 | 仕様 | 8 |
| トーンスイッチ | 5 | 付属品 | 8 |
| MIC/LINEスイッチと入力感度スイッチ | 5 | | |
| グループスイッチとチャンネルスイッチ | 5 | | |

安全上のご注意



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、ACアダプタを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



注意

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、ACアダプタにはさわらないでください。感電の原因となります。



接触禁止



注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

ぬれた手でACアダプタをさわらない

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときはACアダプタを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



強制

設置場所に注意

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



禁止

注意

誤った取り扱いをしたとき、人が傷害または物的損害に結びつく可能性のあるもの。

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁 止

ACアダプタは専用品を

専用品以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



注 意

ACアダプタやコンセント部の掃除を

ACアダプタを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、ACアダプタは根元まで差し込んでください。



注 意

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。



強 制

概 要

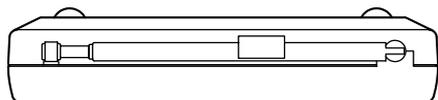
本機は、特定小電力無線局のC型ワイヤレスマイクロホン用に割り当てられた322 MHz帯の電波を使用した卓上型送信機です。

使用上のご注意

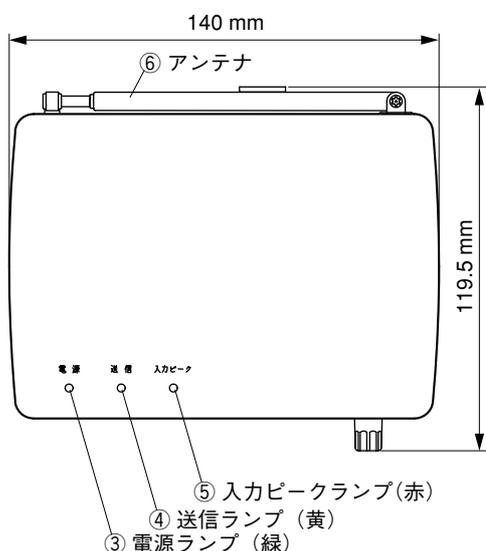
- 使用する電源はAC100 Vです。使用後は必ず電源を切ってください。
- 本機の分解、改造およびアンテナの付け換えは、電波法で禁止されています。絶対にしないでください。
- 本機の底面に貼り付けている証明ラベルは、絶対にはがさないでください。証明ラベルをはがすと、電波法による技術基準適合証明の効力を失い、使用できなくなります。
- 蛍光灯、デジタル機器、パソコンなど高周波雑音を発生する機器からできるだけ離して使用してください。
- テレビ、ラジオ、その他の公共通信などに雑音が入ったり混信が生じたときなどは、本機の使用を中止してください。放送局や無線局の近くでは、混信したり音声途切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- アンテナは必ず垂直に立ててください。アンテナを垂直に立てていないと正しく送信できないことがあります。
- ケース外部の汚れは乾いた布で軽く拭いてください。ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。
- 本機の周囲に金属物など電波をさえぎる物を置かないでください。正しく送信できないことがあります。
- アンテナを握って本機を持ち歩かないでください。故障の原因となります。
- 床に落としたり、固い物に当てないでください。故障の原因となります。

各部の名称

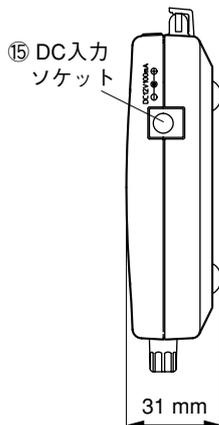
[後面]



[上面]



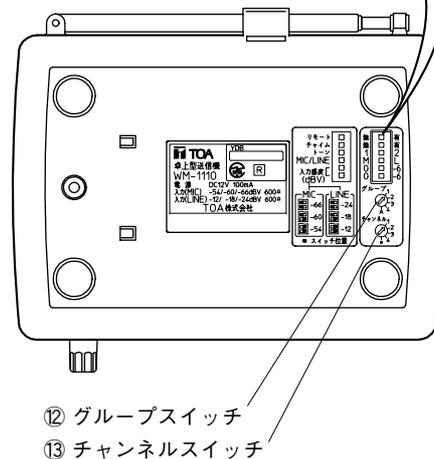
[側面]



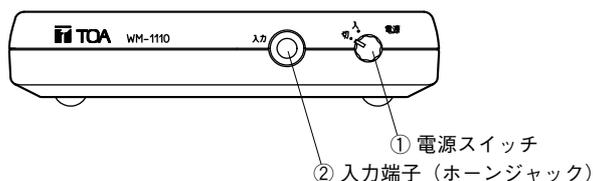
- ⑦ リモートスイッチ
- ⑧ チャイムスイッチ
- ⑨ トーンスイッチ
- ⑩ MIC/LINEスイッチ
- ⑪ 入力感度スイッチ



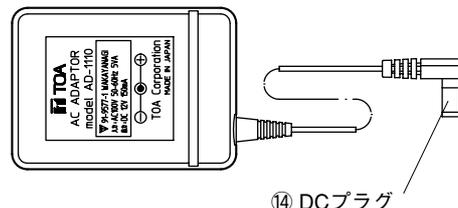
[底面]



[前面]



● ACアダプタ (付属品)



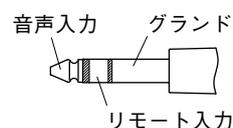
● 表示灯について

- ③ 電源ランプ (緑) : 電源を「入」にすると点灯します。
- ④ 送信ランプ (黄) : 電波を送信しているときに点灯します。
- ⑤ 入力ピークランプ (赤) : 入力端子からの入力レベルが大き過ぎると点灯します。

各種スイッチの設定のしかた

■ リモートスイッチ

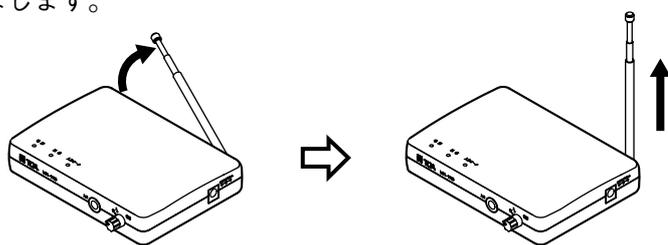
- リモートスイッチ⑦を「無」に設定すると、常に送信状態になります。リモート制御* はできません。
* リモート制御とは、本機に接続した外部機器から、本機の送信の制御をする機能のことです。
- リモート入力を使用して、本機の送信を外部機器から制御する場合は、リモートスイッチの設定を「有」にしてください。外部機器からのリモート入力ONのとき (3極ホーンプラグのリモート入力端子がグラウンド端子とメークするとき) に電波が送信されます。
- 外部機器と本機の接続には付属の3極ホーンコードを使用してください。外部機器との接続に2極ホーンコードを使用した場合には、リモートスイッチの設定に関わらず常に送信状態になります。



※ リモートスイッチは工場出荷時には「無」に設定されています。

設置のしかた

1. 本体を水平な場所に設置します。
2. アンテナ⑥を垂直に立て、最大の長さまで伸ばします。



操作のしかた

1. ACアダプタ（付属品）のDCプラグ⑭を、本体のDC入力ソケット⑮へ差し込んだのち、ACアダプタを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。
2. トーン、グループ、およびチャンネルを設定します。（設定のしかた ㉑ P.5「トーンスイッチ」「グループスイッチとチャンネルスイッチ」）
3. 本機の入力レベルを接続機器の出力レベルに合わせて設定します。（設定のしかた ㉑ P.5「MIC/LINEスイッチと入力感度スイッチ」）
4. リモート機能を使用する場合はリモートスイッチ⑦を「有」に、使用しない場合は「無」に設定します。
※ 接続する機器によっては、リモート機能を使用できない場合があります。その場合はリモートスイッチを「無」に設定してください。
5. 別売のページングマイクロホン、卓上型受信機、アンプなどの出力端子と本機の入力端子②を接続します。
※ 卓上型受信機、アンプなどの接続には、付属の3極ホーンコードを使用してください。
6. 電源スイッチ①を時計方向へ回して電源を入れます。
→ 電源が入ると電源ランプ（緑）③が点灯します。
→ 送信を開始すると、送信ランプ（黄）④が点灯します。
7. 使用後は、電源を切ってください。

上手な使いかた

- 同一場所で同時に使用できるチャンネル数は、グループ1～3では4チャンネル、グループ4では1チャンネル、グループAでは5チャンネルです。同時に使用するときは、同一グループの中でチャンネルを設定してください。複数のチャンネルを同時に使用すると、1チャンネルのみの場合に比べて通達距離が短くなる場合があります。
- 近くで本機と同じC型ワイヤレスマイクロホンを使用していると、チャンネルによっては妨害を受ける場合があります。そのときは、使用するチャンネルを変更してください。
- 入力ピークランプ（赤）⑤が常時点灯するような場合、歪んだ音になります。この場合は、外部に接続した機器の出力レベルを下げるか、MIC/LINEスイッチ、入力感度スイッチを設定し直してください。
- ページングマイクロホンを騒音が激しい場所で使用する場合、入力感度を落とすことにより音声の明瞭度を改善できる場合があります。

故障かな？と思ったら

| 症状 | 点検 | 処置 |
|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 電源が入らない。 | ACアダプタが正しく差し込まれていますか？ | ACアダプタを正しく差し込んでください。 |
| 送信機と受信機が近くても受信できない。 | グループスイッチ⑫、チャンネルスイッチ⑬が受信機と同じ設定になっていますか？ | グループスイッチ、チャンネルスイッチを受信機と同じに設定してください。 |
| | トーンが受信機と同じになっていますか？ | トーンスイッチ⑨で受信機と同じトーンにしてください。 |
| 送信機と受信機が近くても受信できない。送信ランプ④は3回点滅のくり返し。 | グループスイッチ⑫、チャンネルスイッチ⑬が割り当て外のところに設定されていませんか？ 下記以外の設定はできません。 グループ1～3：チャンネル1～4 グループ4：チャンネル1 グループA：チャンネル1～4、・ | グループスイッチ、チャンネルスイッチを正しく設定してください。 |
| 送信機と受信機が近くても受信できない。 送信ランプ④は消灯している。 | 3極ホーンプラグが奥まで挿入されていますか？ | 3極ホーンプラグを奥まで挿入してください。 |
| 受信機からの声が小さい。 | MIC/LINEスイッチ⑩、入力感度スイッチ⑪が正しく設定されていますか？ | MIC/LINEスイッチ、入力感度スイッチを正しく設定してください。 |
| 受信機からの音が歪む。 | MIC/LINEスイッチ⑩、入力感度スイッチ⑪が正しく設定されていますか？ | MIC/LINEスイッチ、入力感度スイッチを正しく設定してください。 |
| リモートができない。(常時、送信状態になっている。) | リモートスイッチ⑦が「無」になっていますか？ | リモートスイッチを「有」に設定してください。 |
| | 入力端子②に3極ホーンプラグが正しく挿入されていますか？ | 入力端子に3極ホーンプラグを正しく挿入してください。 |

周波数表

| グループ 周波数 (MHz) | 1 | 2 | 3 | 4 | A |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 322.025 | | | C31 | | CA1 |
| 322.050 | C11 | | | | |
| 322.075 | | C21 | | | CA2 |
| 322.100 | C12 | | | | |
| 322.125 | | C22 | | | |
| 322.150 | | | C32 | | CA3 |
| 322.250 | C13 | | | | |
| 322.275 | | C23 | | | |
| 322.300 | | | | C41 | CA4 |
| 322.325 | | | C33 | | |
| 322.350 | C14 | | | | |
| 322.375 | | C24 | | | |
| 322.400 | | | C34 | | CA・ |

※ 真ん中の数字がグループを、末尾の数字がチャンネルを表します。

トーン周波数表

| | |
|---|-----------|
| 1 | 14.80 kHz |
| 2 | 14.75 kHz |

仕様

| | |
|---------|--|
| 電源 | AC100 V、50/60 Hz (ACアダプタ) |
| 消費電力 | 3 W |
| 無線局の種類 | 特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備 |
| 電波型式 | F3E |
| 送信周波数 | 322.025 ~ 322.150 MHz、322.250 ~ 322.400 MHz 25 kHz 間隔、13 チャンネル |
| 送信出力 | 1 mW |
| 発振方式 | 水晶制御 PLL シンセサイザ方式 |
| トーン周波数 | 14.80 kHz、14.75 kHz (2チャンネルのうちの1チャンネル) |
| 総合周波数特性 | 150 ~ 6,000 Hz (卓上型送信機→携帯型受信機) 130 ~ 7,000 Hz (卓上型送信機→卓上型受信機) |
| プリアンパシス | 50 μ s |
| 入力レベル | 標準入力：-54 dBV/-60 dBV/-66 dBV (マイク時) -12 dBV/-18 dBV/-24 dBV (ライン時) 最大入力：-30 dBV/-36 dBV/-42 dBV (マイク時) +12 dBV/+6 dBV/0 dBV (ライン時) マイク/ライン切り換え、600 Ω 、不平衡、ホーンジャック |
| リモート入力 | メーク接点入力、開放電圧：DC2 V、短絡電流：0.2 mA、ループ抵抗：100 Ω 以下 リモート制御時：メーク中は電波送信 |
| 使用温度範囲 | -10 ~ +40 $^{\circ}$ C |
| 仕上げ | 本体：ABS樹脂、ダークグレー (マンセルN2.5近似色) |
| 寸法 | 140 (W) \times 31 (H) \times 119.5 (D) mm (突起部を含む) |
| 質量 | 270 g (ACアダプタを含まず) |

※ 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

| | |
|--------------------|---------|
| ACアダプタ (コード長1.8 m) | 1 |
| 設定用ドライバ | 1 |
| 3極ホーンコード (2 m) | 1 |



| | |
|---|--|
| TOA インフォメーションセンター | フリーダイヤル (無料電話) TEL. 0120 - 108 - 117 |
| 商品や技術など、お問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く) | 〒665-0043 宝塚市高松町2番1号 TEL. (0797) 72-7567 FAX. (0797) 72-1090 |

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。